

## トッド・カンガス 抄録

### 基調講演

#### ★「天国では、お父さんと必ず会おう！」

若者たちが高校卒業後に信仰を失っていく数の多さには愕然とします。この基調講演では、子どもたちにキリストの弟子の心を与えるために、父親の役割がどれほど大切であるかを見ていきます。この重要な問題と戦う方法が提供され、父たちは子どもたちの信仰を深める領域に移る指針と戦略が与えられます。

#### ★「律法的なパリサイ人を育てるのは簡単でも…」

規則を作ったの画一的な子育ての試みは簡単です。しかし残念なことに、そうした規則にすべての子どもたちが同じように応答し、良き成長になると限りません。私たち親は、一人ひとりの個性ある子どもたちをどのように育てるべきなのか、聖書の基準をどうしたら多様な子どもたちに適応できるか、聖霊の声を良く聞くことを学ぶ必要があります。生粋のパリサイ人で律法的あったパウロの人生から一緒に教訓を学びましょう。

### 分科会

#### ①「子どもたちの心とたましいの戦い」

ホームスクーラーにとって優先事項があります。まず一つは、なぜホームスクーリングなのか明確に認識しておく必要があります。特に一般の学校と比較したときに、ホームスクーリングがより良い選択であるという理由を明確に述べることです。もう一つの目標は、私たちの取り組み方に見られる世間や私たち自身の中にいつの間にか築かれている偶像を認識し、それらを打ち壊すことです。この霊的戦いを勝ち抜く秘訣を見ていきましょう。

#### ②「プレッシャーに耐え続ける」

隣町のことになりました。ホームスクーリングをしているという理由で、教会には錠がかけられ、父親たちが投獄され、母親たちは子どもたちと一緒に別の州に退避したというのです。これは私たちがホームスクーリングを始めた初期1990年代後半に起こった出来事です。転職のため、神は我が家を別の州に移されました。私たちの引っ越し先では、州の義務教育に違反したとの疑いで、一人の母親が逮捕されたばかりでした。彼女はホームスクーリングを選択していたのです。そのような厳しい状況のただ中、私たちがホームスクーリングを続けた理由は何でしょうか？ホームスクーリングという召しを実現するための知恵と力をどのように見つけたのでしょうか？どのような対応が必要だったのでしょうか。法的面のみならずプレッシャーの中にいる人たちへの聖書的秘訣と実践的ステップをお話しします。

#### ③「ダニエルのような子どもを育てる－10倍優れた若者」

自分の信仰のゆえに、獅子の穴に投げ込まれたり、火の燃える炉の中に投げ込まれたことのある若者たちがいます。このような青年になるためにはどのように育てたらいいのでしょうか？15歳くらい少年たちが、自分たちの住む国から外国の地に連れて行かれたのです。異国の地に連れて行かれる前はどのような生活をし、どのような教育を受け、どんな家族の一員だったのでしょうか？そのころ、どのような家庭生活をしていたのでしょうか？このように考えるように至ったのは、彼らの人格の基盤がすでに確立していたからこそ、捕囚の民として耐え抜くことができたのだと信じているからです。ダニエルのような子どもを育てるために、聖書とホームスクーリングの実践の日々を通して教えられた秘訣を分かち合います。

#### ④「もはや iPhone の奴隷ではない」

【男女・大人・ティーン向け】

今日の子どもたちは、現在のネット化社会において、私たち親、あるいは祖父母が体験しなかったようなタイプの誘惑に直面しています。この分

科会では、ソーシャルメディア、インターネット、ゲームを通して子どもたちが満たそうとしている5つの主な要求を認識し、これらの強力な誘惑に対する対応策を分かち合います。

### ⑤「結婚相手を間違ったのでしょうか？」 【男女・大人・ティーン向け】

ペテロは夫たちに向けて、妻を理解しながら共に生活するようにと勧告しています。この分科会では、まず結婚生活のさまざまな段階で起こる女性の変化を確認していきます。あなた（夫）は、夢に描いた理想の女性と結婚生活をスタートしますが、ある時は授乳中の母親だったり、子どもたちのお母さんだったり、また別の局面を持つ女性と結婚していることに気がきます。同様に男性もまた男性（夫）として妻と上手く生活していくためには、それぞれの段階にふさわしい新しいアプローチ法を学ぶ必要があります。「結婚相手を間違ったのでしょうか？」私自身も、40年間の結婚生活において多くの疑問が生まれました。この分科会では、結婚生活における浮き沈み、良い日悪い日、さらに平均的な日についても学びます。ここで提供される結婚生活を保つ秘訣が、私たちが信じてしまいがちな偽りを打ち負かす助けとなるでしょう。

### ⑥「家族用のホームスクーリング計画案を作成する」

この分科会では、ホームスクーリングを選択した結果として家族がどこに向かっているのか、明確なプランを立てることは大きな助けになります。皆さんは、何らかのゴールを設定しておられますか？そして、そのゴールに達成するためにどのような方法を考えておられますか？これから先何年もの間、神が自分たち家族に達成させたいと思っておられることは何であるかを知っていますか？そうした計画案を夫婦一緒に書き出していく方法を分かち合います。

## スーザン・ビーティ 抄録

### 基調講演

#### ★「家庭での教育：喜びと捉える」

神さまが私たちの子どもたちを家で教育するように召されたのですから、ホームスクーリングは喜びにあふれた時間であるはずですが、しかし私たちはそれを喜びにあふれた奉仕というより、義務と捉えてしまいがちです。主に知恵を求める代わりに、私たち自身の力でやろうと奮闘します。私たちの姿勢と方法を変えることによって、私たちはそれを喜びと捉えることができます。

#### ★「教育上の聖書的基盤を作り上げる - 教育への確信を築く」

あなたはなぜホームスクーリングをしているのですか？教育上の聖書に基づく目的やゴールは何でしょうか？教育の歴史やキリスト教教育についての賛否両論を知っていますか？さまざまな教育法を試してきた体験から、教育の霊的、歴史的、実面的な面についての情報を分かち合います。ホームスクーリング歴の長い方も、お父さんたちもぜひこの基調講演に来てください。ホームスクーリングにとって必要不可欠な基礎となる教育への確信を築くことによって、聖書的教育に対するコミットメントを再構築しましょう。

### 分科会

#### ①「キリストの弟子の心を与えることと人格形成」

教育の究極的な目的とは何ですか？それは、高学歴を得ることでしょうか？もちろん、学歴も無視することはできません。しかし、クリスチャンのホームスクーリングにおける最も大切なゴールは、キリストの弟子の心を与えることと人格形成です。それはなぜでしょうか？それらはどういったものなのでしょうか？どのように実践すればよいのでしょうか？

#### ②「ストレスの少ない、ホームスクールにおける

## ライフスタイルのマネジメント」

子どもたちを家庭で教育することは、私たちの人生における最も偉大なる冒険です。管理するよりは、効率的に対応していくべきです。ライフスタイル全体を変えようとするのではなく、むしろ区切ってこなすのです。では、どのように展開したらいいのか。この分科会では、ホームスクーリング、あなたのご家族、そしてストレス対策について多くの知恵が提供され、またあなたを励ますことになるでしょう。

### ③「創作的な文章を書く：物語を書く基礎を教える方法」

想像力は学習と理解力に火を付けます。創作的な文章は想像力を駆り立てます。物語を書くための基礎を教えることは、子どもたちの想像力を引き出すことであり、文章の書き方を教えることは楽しいものです。物語を書く基礎をどうやって教えたらいいかお分かちします。

### ④「ホームスクーリングへの招待（入門編）」

ホームスクーリングとは何でしょう。なぜホームスクーリングをしたくなるのでしょうか。どの聖句が「汝、ホームスクーリングをするべし」と言っているのでしょうか。ホームスクーリングの歴史は？それはどこから始まり、どこへ向かっているのか。ホームスクーリングを始めるために、さらに情報を得るために、あなたはどこへ行きますか。ホームスクーリングにご招待する入門コースです。

### ⑤「ホームスクーリング神話と現実」

「すべてのホームスクーラーの子どもたちは天才、霊的な巨人、完璧…」といった神話によって、あるホームスクーラー（教育者）たちは燃え尽きてしまったり、またホームスクーリングを行っていない人々は、ホームスクーリング自体を悪いものとして偏見をもって退けてしまったりします。ホームスクーリングの真実とは何でしょう。どの

ようにしたら、ホームスクーリングを進めていく上で、現実的な視点を持ち、その責任、将来性について、ホームスクーリングをする家庭を強めることができるのでしょうか。

### ⑥「家事、ホームスクーリング、そしてあなたの健全さ」

ホームスクーリングをする母親は、子どもたちをホームスクーリングすることに加え、家庭をマネジメントする主婦です。それらをどのようにするべきでしょう。また、どのように効果的にするべきでしょう。この分科会では、食事の計画や準備についての実際的なアイデア、家事、家の管理、時間管理について、ホームスクーリングの母親の立場から提供します。その上で、私たちのホームスクーリングにとって最も偉大な目的に目を向けていきます。このセミナーでは、実践的な側面、その霊的な目的、それらを日常的に神の視点で見るための知恵を提供、チャレンジします。

## ジョイス・イノウエ 抄録

### ★スペシャルタイム

### 分科会

#### ①「子どもたちそれぞれのニーズに応えるために」

あなたが何人かをホームスクーリングしているとしても、たった一人だとしても、一番合った学び方を見つけ、教えていくことは、子どもたちの学びを楽しくさせ、達成感と成功感を与えます。どうすれば親はすぐそれぞれに適した学び方を発見することができるのでしょうか。どうやってホームスクールの教材を用いつつ学び方を教えることができるのでしょうか？ホームスクーリングという環境で、それぞれの必要にどうやって応えていけるのでしょうか。

#### ②「子どもたちの賜物、長所と短所認識への一般テストの誤り&勧めたい親の観察方法」

子どもたちの能力を正しく知るために、ぜひこのセミナーに来てください。長年にわたり、一般テストには多くの間違いと不正確さがあることを体験してきました。なぜ一般テストと言われるものが間違っているのか、お話ししたいと思います。多くの時間やお金を使うことなく、学習障害に正しく気付くために、子どもに対しての観察方法を親の皆様様に訓練します。

### ③「子どもたちを祝福する方法」

過去5年間、チアの皆さんに言葉の力について分かち合ってきました。聖書には、人の口から出る言葉は、生かすものでもあり、殺すものでもあるということが書かれています。多くの家族が“子どもたちを祝福する祈り”を行い、家族が変えられた劇的な変化を証しています。もしあなたがあなたの心を子どもたちに向け直すならば、子どもたちの心もあなたに戻ってくる(マラキ4:6)。もしあなたがあなたの言葉を変えるならば、彼らは時にかない、恵みで満ち、あなたの徳を高めるような存在になるのです。子どもたちを傷つけるのではなく、祝福することを選び、ぜひこのセミナーに来てください。

### ④「子どもたちへの祝福に推進力を与えるために」

私たちは言葉の力を知り、どのようにして子どもを祝福するか学んできました。しかし私たちが忙しい時、疲れ果てている時、怒りがこみあげてくるような状況の時はどうでしょうか。一日がとてつもなく忙しく、短く、そして子どもがたくさんいる状況の中で、どのように子どもたちを祝福し続けることができるでしょうか。これが可能であり、なぜこれが他のどんなレッスンよりも重要であるかを分かち合います。

### ⑤⑥「子どもたちが学習障害と思った時の十の戒め」パート1・2

このセミナーで、あなたの子どもたちへの見方が変えられるでしょう。命を与え、人生を変える

ようなものとなるでしょう。あなたがどのように子どもたちを見るかは、子どもたちとの関係や子どもたちの自尊心に大いに影響を及ぼします。

## 分科会各講師 抄録

### ■「次世代に伝えるべき命と性」

伊藤 こそえ(大阪会場)

神様は私たちに命を与え、「生めよ。ふえよ。地を満たせ。創世記1:28」と創造の初めから祝福してくださっています。大人の私たちは、神様の愛と祝福を受け取っている者として、家庭で、教会で、地域で、この命と性の大切さを次世代にきちんと伝えることができているでしょうか。世の中に氾濫している歪んだ性情報によって、私たちの性に対する意識も知らず知らずの内に歪ませられ、どのように伝えていったらよいのか困惑しているのではないのでしょうか。聖書に基づく命の教育、若者たちを取り巻く現状、具体的にどのようにアプローチしていったら良いのか等、助産師としての臨床の現場からも一緒に考えていけたらと思っています。年齢差のある高校生、中学生、小学生三人との日常も少し分かち合えたらと思います。

### ■「チャーチ&ホームスクーリング

—必ず聞かれる20の質問

稲葉 寛夫(大阪・東京会場)

「チャーチ&ホームスクーリングって何?」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は?」「微分、積分ができなくても教えられる?」「聖書が教える教育法は?」「しつけは?」「大学進学、就職は?」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって?」「週2時間からできるC&Hって?」。この18年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース!

### ■「我が家の子育ての歩み」

### 今井 一穂 & 真理子 (大阪会場)

独身時代からホームスクールに興味を持つ夫・一穂と、ホームスクールに全く関心が無かった妻・真理子。そんな私たちがどのようにホームスクールに導かれたのか、また小学校への対応や、祖父母の反応、現在の様子などを共有させていただきます。

### ■「場違いな化石」 宇佐神 実 (東京会場)

海で堆積した地層から陸上を歩いていた恐竜の化石が発見されることがあります。北海道のむかわ町で発見されたむかわ竜の化石もその一つです。進化論者にとっては不思議なことですが、ノアの大洪水があったことを考えるなら、そのような場所で陸上の生物の化石が発見されるのは当然のことです。子どもに教える時、地層や化石について、聖書の視点から考え始めることの大切さを学びます。

### ■「創造を信じることはなぜ大切な？」 宇佐神 実 (東京会場)

人が何を信じるかで、その人の世界観が形作られ、人はその世界観に基づいて考えたり行動したりします。聖書通りの創造を信じることは、自分の存在価値を明確にします。そしてなぜ人は悲しみや苦しみを経験するのか、なぜ人は死ななければならぬのか、なぜ救いが必要なのかの根拠がはっきりするのです。創造が分からないとこれらの根拠がなくなってしまうのです。子どもたちに創造を伝えるために共に学びましょう。

### ■「7つの敵」 大久保 みどり (大阪会場)

八百万の神々信仰に抑えられ、どっぷり浸かっている日本の中で、クリスチャン信仰はそれらの御利益信仰とは大いに次元を異にしていることを明確にする必要があります。罪死労病苦からの解放という、素晴らしい祝福を頂きますが、それだけに終わらない、むしろ、この世では得られない新しい神の国の神の民、祭司としての働きと恵み、

千年王国、新天新地へと続く永遠の神の国建設への使命を与えられています。宇宙、万物、全人類と諸国諸国民の歴史等、存在のすべてを永遠の神の次元へと復活させる働きです。この遠大な目的の一翼を担う子供達に「そういう大志を抱け！」と具体的に導ける教育でありたいと願います。そのためにまず七つの敵の正体とその戦法について語らせて頂きます。

### ■「十字架を目指して低きにのぼる 2」 鍵谷 徹也 & 陽子 (東京会場)

19歳の長男、7歳の長女、4歳の男の子(里子)を養育中。何よりも、神の国とその義を…と、始めたHS。多くのものを捨ててきたのに、何倍にもなって返ってきた恵みは数知れず。ほぼ聖書の学びと伝道だけで育った長男は、法を通した働きへと導かれ、肉体に弱さのある長女には、励ましと訓練の機会が与えられ、絶望的だった里子くんとの関係作りには、微かな光が。選択肢になかった道が開かれるたび、戸惑い、信仰が試されるけれど、本当のゴールは一つだけ。子どもたちや自分達の足りなさに目を留めず、赦し、完成させて下さる主をこそ仰ぎ見て、砕かれ、感謝しつつ歩む日々をお分かちします。

### ■「幼児期こそホームスクーリング！」 菅野 律哉 & 幸 (東京会場)

時には葛藤や試練がありつつも、私たちはホームスクールこそ子どもにとっての最大の祝福であると確信させられています。ホームスクールを始めたきっかけは？何から始める？幼い弟・妹がいても大丈夫？父親の仕事が忙しくても大丈夫？とても続けられないと感じた時どうする？といった疑問(全て私たちが感じてきた疑問です)から、家庭における父親と母親の役割、子どもの個性に合わせた育て方、そしてすでに子ども達に芽生え始めている良き実など、私たちが主から受けてきた様々な教えや溢れる恵みを皆様と分かち合わせていただければと思います。

### ■～つばめ便り～妻&母編

## 「主よ私を変えてください！」

桐山 壘&明日美（東京会場）

7歳で受洗するも、ダブルスタンダードに苦しみ、遂に高校でドロップアウト。10代の後半はひたすら暗闇の中、放蕩の限りを尽くしていたが、20歳で劇的に主の元に戻され、同時に出会った主人と結婚。夢と希望に満ちあふれた結婚生活やホームスクーリング…のはずが、古い性質を持ったままの自分では、到底上手く行くはずもなく…(泣) 14年間のホームスクーリングを通して、夫や子ども達と向き合い葛藤する中で、神様は徹底的に私の中にある罪や弱さ、傷や囚われなどを露にされ取り扱い続けて下さっています。時に、絶望し負のスパイラルにはまる事も、諦めそうになる事も多々ありますが、その度になりふり構わずひたすら主の名を叫び求める事によって「栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられて行きます。」という御言葉が自分の内に成就するのを体験しています！まだまだ発展途上、欠けだらけの私ではありますが、これからもホームスクーリングという炉の中で、自分が溶かされ変えられてゆける事を思うと嬉しくてたまりません！今回は白馬を病欠してしまった私の証を、夫の証言も交えてお伝えします。【ダメダメ主婦の管理術（お金、時間、整理整頓 etc）、夫婦>子ども、霊的戦い、ひたすら主の前に…etc.】

## ■「ホームスクールの知恵とこつ

－ 10年で学んだこと」 竿代 健（大阪会場）

長男が3歳の時に主夫となり、ホームスクールに取り組み始め11年目になりました。10年を振り返ってみて、成功や失敗も含め実践してきたこと、他のホームスクーラーとの交流から教えられたこと、子どもの成長や変化によって見えてきたことなど色々あります。ホームスクールを実践していく上での知恵やこつを項目ごとにまとめてみようと思います。項目ごとで、良きアイデアなど意見交流の場になれば理想と思います。項目は、多少変化するかもしれませんが、「学力」「教会」「ホームスクーラーとの交流」「経済」「学校」「体力」などを考えています。

## ■「HS お父さん集まれ」

志賀 信泰（東京会場）

1年前（2017）のコンベンションをきっかけにホームスクーリングをしているお父さんの励まし合いを目的とした「HS お父さん集まれ」集会を西東京地区で定期的に開催しています。「あのお父さん何度か見かけるけど…話しかけにくいな」と思ったことのある方、是非ご参加ください。とっても気さくで、とっても悩み多いお父さんたちが集まってお互いのために祈り合っています。

## ■「失われた神の栄光を取り戻せ！」

末宗 宣行&百合子（東京会場）

イザヤ 40 : 31 「主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。」ただ救われて天国にさえ行ければよいという受け身の信仰生活ではなく、私たちは真実と偽りを見分け、鋭い視野をもって鷲のように羽ばたき、キリストの弟子として力強く歩むことが主の御心であると信じます。教会、親は、広い視野をもつ主の勇士を育てることのできる特権が委ねられています。これまでの経験を振り返ると共に、これから、どの領域で神の栄光を取り戻すことができるのかについて、スライド等を用いて分かち合います。

## ■「わが家はわが家、わが家なりのホームスクール」

竹橋 賢一&祐子（大阪会場）

だめだめでも出来た。だめだめでも大丈夫。だめだめだからこそ神の助けがあった。一人一人神が個性を与えられたように、ひと家族ひと家族それぞれ違うと気づかせてもらった。今年で10年目になります。子どもたちに励まされたり、励ましたり共に祈り、泣いたり笑ったり一緒に過ごす日々は、（振り返ればその時は困難を覚える事もあるけれど）結局はなかなか良いものだなと思わせてもらっています。

## ■「神様のご計画とタイミングは完璧です」

田丸 暁規&明日香（大阪会場）

妻がホームスクーリングの導きを受け、祈り始めたのは、約8年前。長女（現在13歳）が小学校へ入学する前の事でした。ノンクリスチャンだった夫は大反対。妻は「これはわが家への召しではなかった」と自分に言い聞かせて、子どもたちは公立の小学校へ通い始めました。ですが、神様はきちんとわが家にご計画を持っておられました。3年前に主人も救われ、コンベンションの参加をきっかけにホームスクーリングの道が開かれました。神様の憐れみで、現在ホームスクーリング3年目。失敗だらけのわが家の歩みと日々の取り組みをお話しします。

## ■「ステップアップするホームスクールⅣ」

### 大学入試の話

辻 寿 & 奈央子（東京会場）

1年生から2年間のチャーチスクール、その後10年間のホームスクールを経て、小学～高校過程の学習を終えた長女は今年大学進学へと導かれました。受験のサポートで成功したこと、失敗したこと、神様から語られたことを寿と奈央子で分かち合います。またホームスクールをしながらの受験の良かった点や大変だった点などを長女自身の証しも交えて分かち合いたいと願っています。

## ■「低年齢化する10代の性行動と親の任務」

辻岡 健象（東京会場）

神の形に創造され、神の栄光を現わす「いのちと性」が軽視され、性の秩序が完全に乱れてしまった時代に私たちが生きています。この大切ないのちと性のあり方、生き方を具体的に話し合い、学びたいと思います。

特に、現代の一般的な性教育と私たち性教育の違いを中心に、共に学び、共に話し合い、充実した時間を共に過ごし、解決策を求めていきたいと願っています。いのちと性に対する考え方や理解が多様化する中で、それでは如何に生きるべきか、を共に話し合い学び解決策を求めていきたと思います。

彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父

に向けさせる。それは、わたしが来て、のろいでこの地を滅ぼさないためだ。（マラキ4：6）

## ■「家族の中での父親の責任」

テモテ ブローマン（大阪・東京会場）

主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあられる」。第2コリント12:9

夫の弱さを知り尽くしているのは妻。こどもたちも大きくなるにつれそれが見えてきます。その中で、家族の一人一人が主に従うように、父親は如何に家族を守り導くべきか？どのようにしてこどもたちに正しく教えられるのか？御言葉を読みながら、ともに考え、交わりを持ち、互いに励まし合えればと思います。

## ■「子どもの個性に寄り添うホームスクーリング」

トゥール ジェフリー & 文絵（大阪会場）

5人の子どもがいると、性格も5通りです。そんな子どもたちをどうやって一緒に教えていけばいいのでしょうか？これはホームスクーリングのチャレンジであり、強みでもあります。子どもたち一人一人の特性（ディスレクシア、LDの子もいます）や、学習スタイルを探り、受け入れ、そして実践へと移していく中での葛藤や経験を分かちあいます。

## ■「那須家のホームスクーリング15年で修了！？

### —旅立ちの春、盛夏に向けて—

那須 清志 & 百合美（大阪会場）

2004年4月より始まったホームスクーリングも15年で修了です。長男（26歳）は昨年よりビジネスマン、長女（24歳）は看護師4年目、次女（22歳）は今春からビジネスウーマン、次男（20歳）は大学2回生、三女（18歳）は今春から看護学生。というわけで、子どもたちはみな家を港にしつつ、訓練・学びの大海で航行中となりました。

15年間、ホームという同じ環境で学びつつも、教会や社会との関わりの中で多くのことを教えられてきました。いよいよ本格的に主からのお取り

扱いを受け、主にある成人を目指して進んでいてほしいと願うばかりです。今回も一人ぐらいいは時間を捻出して参加し、レポートする予定です。誰が登場するかはお楽しみ…。

■「十人十色の大家族、  
中島家のホームスクール～続編～」  
中島 若樹&啓子(大阪会場)

大学3回生(20)、新社会人(18)、高1(16)、中2(13)、小5(10)、小3(8)、幼児2人(5 & 3歳)の8人の子どもたちをホームスクールで育て14年目。この1年、専門学校に通いながら美容業界で日曜日に休める就職先を探す困難な道りを歩んだ長女。そのチャレンジと恵みを中心に、バラエティーに富んだ年齢層と個性豊かな子どもたちのホームスクーリングの様子を分かち合います。

■「『ウソ』を教えてください  
—口先だけの謝罪について—  
ピーター ブロックソム(大阪・東京会場)

「ごめんなさい。」特に小さい子どもにとって、このことばは親や先生との関係を円滑に保ち、ひいては日々の幸せを守るための潤滑剤です。クリスチャン家庭、またクリスチャン教育においても、なにか問題が起きたとき、私たちは子どもたちに「良い子」として口先だけで謝ることを強制してしまいがちです。しかし、神様の心を持った子どもとは、表面的な謝罪によって得られる利益に関わらず、自分の過ちについて心から納得した上でしか謝らない子どものことではないのでしょうか。みなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

■「富士山にチャレンジ！」  
藤井 一郎(東京会場)

10年連続登頂を目標に立て、今年で8回目の富士登山を前に、成功率を上げる為の登り方、必要な身体能力、トレーニング方法、装備などなどをお話しします。

■「若者をその行く道にふさわしく教育せよ」  
～箴言 22:6～  
森山 剛 & 有佳子(大阪会場)

長女の誕生と共に始めたホームスクーリングも18年目を迎えました。この数年は失敗とも思えることもあり、悔い改めながら主の導きを仰いで、子どもたちと様々な角度から将来に向けての取り組みをして来ています。今はまだその途中にありますが、ホームスクールの強い目的である"キリストの弟子となること" & "伝道していくこと"からぶれることなく、また、その為にゆるされる『荒野での主の訓練』から学んでいることをお分かちさせていただきます。質疑応答の時間も取りたいと思ひます。

■「山川哲平・真紀子ファミリーのチャーチ&ホームスクール」～従順教育の重要性と御言葉と祈りの生活～  
山川 哲平 & 真紀子(大阪会場)

現在、ハレルヤチャーチ高松では、5家族合計33人(11+7+6+6+3)がチャーチ&ホームスクール中(ほぼホームスクールベース)。また、それ以外にも、ご主人が未信者の家族もホームスクールマインドで教育をしています。現在、親と一緒に来ている子どもたちの信仰継承率は100%です。また、名古屋の弟ファミリー(9人家族)、妹ファミリー(7人家族)もホームスクール中。義理の妹家族(8人家族)も含めると一族でホームスクーラーです。13年前にチアにつぼんに出会ってから、あっという間に時間が過ぎました。まだまだ試行錯誤しながらですが、教会もホームスクールも「祈り、御言葉、礼拝」が中心になってきました。様々なホームスクールの形があつて良いと思ひますが、私たち家族の証しや、どのようにホームスクールをしているか、特に「従順教育の重要性と、御言葉と祈りの生活によって、思春期の子どもたちの成長」を紹介します。「初代教会(ユダヤ人文化)から学ぶ家庭学習」なども。